

第 7 2 回国民体育大会開催方針

1 基本方針

愛媛県は、四国の北西部に位置し、瀬戸内海、宇和海に面する海岸線は全国第 5 位の長さを誇っています。また、南側には西日本最高峰の石鎚山と日本三大カルストのひとつである四国カルスト高原を有する四国山地が連なり、美しい自然景観に恵まれた地となっています。

この豊かな自然に恵まれた「愛媛」の名は、古事記に「伊予の国を愛比売と謂ひ」と記されていることに由来しており、その名のとおり、美しい風土と温和で誠実な人柄の人々が住んでいる地であります。

この地で、平成 29 年に開催する第 7 2 回国民体育大会は、これまで先人が築き、我々が受け継いできた歴史や伝統、優れた県民性を礎としつつ、愛媛の未来を拓くため、県民全ての参加と協力のもとで成功を目指します。

この大会を契機として、県民誰もがスポーツに親しみ、スポーツを通じて県民の元気を創造する、全国に誇り得る「スポーツ立県えひめ」の実現を図ります。

2 実施目標

次の五つの理念にかなう国体となるよう、県民の英知を結集して、諸準備を着実に推進していきます。

- (1) 県出身の「手づくり選手」が大活躍し、
「手づくりスタッフ」が支える「手づくりの国体」
- (2) 県民のスポーツ活動(する、みる、支える)の
活性化につながる「実になる国体」
- (3) 既存の施設を最大限に活用するなど、
簡素化に努める「身の丈にあった国体」
- (4) 全国からの参加者と県民が民泊等により
交流を深める「ふれあいの国体」
- (5) 愛媛の自然や文化等の魅力を
全国に発信する「愛媛らしさあふれる国体」